

市町村名		伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	墓地整備基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備			
担当部課名	建設課	事業実施 年度	平成 29	~	平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-12
事業内容	本村に点在する墓地の現状を調査し、村民へアンケート調査を行うことで村民ニーズを把握するとともに、墓地を集約化することで、散在化の抑制、土地利用対策及び景観への配慮を目的とした総合的な墓地対策の指針となる墓地基本計画を策定する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	総事業費	
	A. 予算現額	7,500					7,500	
	B. 執行済額	7,290					7,290	
	うち 交付金充当額	5,832					5,832	
	執行率(%) (B/A)	97.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97.2%	
	執行状況の説明	執行率は97.2%であり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	墓地整備基本計画の策定	目標	計画策定	-	-	-	-	
		実績	計画策定	-	-	-	-	
		目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	墓地整備基本計画の策定完了	目標	計画策定の完了	-	-	-	-	
		実績	計画策定の完了	-	-	-	-	
		目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度
		令和3年度までに村営墓地の地域選定を実施し、墓地の集約化を目指して指定した墓地での墓地契約8件/年以上を目指す。	目標	8件	8件	
	実績	5件	3件			
	目標					
	実績					
事業完了後の成果目標 状況説明	【H30年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は5件であり、目標の8件は達成できなかった。しかしながら、村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地の設置許可については0件であったため、散在防止及び墓地の集約を図ることができた。					
	【R01年度】 ・村営墓地団地に係る契約件数は3件であった。平成30年度と同様に目標の8件は達成できなかったが村営墓地団地以外の個人所有の土地での墓地設置許可は0件であったため、令和元年度においても散在防止及び墓地の集約を図ることができた。					
	【 年度】 ・					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】 ・墓地基本計画を策定したことにより、個人所有の土地で墓地の設置を申請する際に村営墓地団地の利用を説明しており、それにより個人所有の土地に墓の設置を行わずに村営墓地団地に墓の設置を行うようになってきている。このことから墓地の散在化防止及び集約化に繋がっており、事業効果が発揮できていると考える。</p> <p>【R01年度】 ・令和元年度においても個人所有の土地による墓の建設相談が3件あったが、墓地基本計画に沿い村営墓地団地への利用案内、計画の説明を行い村営墓地団地の利用をしていただいた。前年度同様に墓地の散在防止及び集約化へ繋がっている。このことから同計画の事業効果が発揮できていると考える。</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【H30年度】 ・墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知を行うことが必要であるため、村ホームページや広報誌等に掲載する必要がある。 また、現時点においては、個人所有の土地における墓地の設置について申請があった場合、墓地整備基本計画を説明し、できるだけ村営墓地団地の利用を促しているが、強制ではないため許可区域の選定を行う2次計画の策定を行う必要がある。</p> <p>【R01年度】 ・前年度同様に墓地埋葬法や墓地に関する届出等の周知を引き続き村ホームページや広報誌等に掲載する必要がある。 個人所有の土地における墓地の設置についても申請があった場合、墓地整備基本計画を説明し、村営墓地団地の利用を促しているが、強制ではないため許可区域の選定を行う2次計画の策定を行う必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を周知する。 また、本計画書を基に2次計画書の作成が必要であることから、今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可区域の選定を行っていく。なお、許可区域の選定においては、検討委員会等の設置や農業委員会等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した計画書の作成を検討する。</p> <p>【R01年度】 ・引き続き村ホームページや広報誌等を通して、村民へ墓地に関する情報を周知する。 今後は、個人所有の土地における墓地の設置に係る許可区域の選定を行っていく。なお、許可区域の選定においては、検討委員会等の設置や農業委員会等と協力して墓地の散在化の抑制及び土地利用対策を図るとともに、景観に配慮した計画書の作成を検討する。</p> <p>【 年度】 ・</p>	
---	--

市町村名		伊江村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	鮮魚輸送強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興	
担当部課名	農林水産課	事業実施年度	平成29	~	平成29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	本村で水揚げされる鮮魚類を県内外へ輸送・出荷する為、空輸用コンテナ、海上輸送コンテナ、輸送用活魚タンクコンテナを整備し漁業振興を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	総事業費	
	A. 予算現額	9,600				9,600	
	B. 執行済額	9,600				9,600	
	うち 交付金充当額	7,680				7,680	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	
執行状況の説明	当初予定していた輸送用活魚コンテナが製造中止になり、仕様を変更することとなったため、予算額を減額したが適正な執行ができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	空輸用コンテナ・海上輸送用コンテナ・輸送用活魚タンクコンテナの購入	目標	各種コンテナ備品購入				
		実績	各種コンテナ備品購入				
		目標					
実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	空輸用コンテナ・海上輸送用コンテナ・輸送用活魚タンクコンテナの購入完了	目標	各種コンテナ備品購入				
		実績	各種コンテナ備品購入済み				
		目標					
実績							

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
		県外への輸送コストの軽減マイナス10円/kg 255円/kg (参考) H28年度 265円/kg	目標				
	実績		265円	285円	618円	-	
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・県外への輸送コストについては、鮮度保持のため氷の量が多く積み込まれた事や、これまでは航空会社のコンテナを使用していたため帰りの輸送料が生じていなかったが、コンテナの購入に伴い帰りコンテナ輸送料を要するようになったことから、目標としていた輸送コストの倍以上の経費がかかった。</p> <p>【R1年度】 ・マグロ等については、県内で価格が安定し取引が行われたため、県外への出荷がなかった。養殖魚については、出荷全量を活魚コンテナにより出荷することができた。</p> <p>【 年度】 ・</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】 ・出荷量に対する氷の割合を検討する必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・県内外の取引価格を注視する必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【H30年度】 ・出荷量と氷の割合を検討する事で輸送コストの軽減を図る。</p> <p>【R1年度】 ・市場での取引価格を注視し、県外への出荷についてはこれまでの課題を改善し、輸送コストの軽減を図る。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・県外へ輸送した後の帰りのコンテナを空の状態では運ぶのではなく、資材や餌等の仕入れ業者などと調整を行い、当該資材等を積み込んで運ぶことにより、互いに輸送費用を負担しあい輸送コストの軽減を図る。</p> <p>【R1年度】 ・今後も市場価格を注視しながら出荷を行い、県外の輸送については、コストの軽減を図る。</p> <p>【 年度】 ・</p>	
---	--

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村観光振興基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備		
担当部署名	商工観光課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	本村の総合的な観光振興を中長期的に推進していくために基本計画を策定する。また、伊江村観光振興推進協議会において、村観光の現状と課題の分析、民泊事業、観光資源と特産物や農産物を含めた地域資源の掘り起し、スポーツコンベンションやインパウンド対応など、地域の魅力を最大限に活かした観光戦略を多角的に構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	10,000				10,000	
	B. 執行済額	9,990				9,990	
	うち 交付金充当額	7,992				7,992	
	執行率(%) (B/A)	99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9%	
執行状況の説明	執行率は99.9%であり、予算の範囲内で適正な執行を行った。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	観光振興計画の策定(課題の整理、基本方針・基本施策の決定など)	目標	観光振興計画の策定				
		実績	策定完了				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	・本村の現状、課題の把握	目標	現状・課題の把握				
		実績	現状・課題の把握				
	・今後5年間の観光振興に向けた基本施策の決定	目標	基本施策の決定				
		実績	基本施策の決定				

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	3年度 目標/発現年度	
事業完了後の 成果目標	入域観光客数 158,000人/年 (参考)H27年度136,000人/年	目標		147,000人	147,000人		158,000人
		実績	127,298人	127,754人	121,820人		
	目標						
	実績						

状況説明	【H30年度】 ・平成30年度の伊江村入域観光客数は、前年度と比べ456人(0.35%)増の127,754人となっており、平成30年度の目標数を下回った。
	【R1年度】 ・年度末の3月頃から新型コロナウイルス感染症の影響もあり修学旅行のキャンセルや、一般観光客が激減した。
	【R2年度】

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】 ・伊江村への観光入客が落ち込む夏に誘客イベントを開催し、また冬場の団体誘致(スポーツ合宿等)に努めたが、想定した誘客には届かなかった。</p> <p>【R1年度】 ・イベントの際に観光振興計画を基に観光誘客を行う参考にしたことで夏場に開催したイベントでは前年度を上回る観光客でにぎわった。</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【H30年度】 ・一般観光客への認知度向上に向け、県内外での本村のPRを強化する必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・実現可能な内容を精査しイベント等の誘客策を提案していくことが必要である。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・県外で開催されているツーリズムexpoなどの観光誘客に特化したイベントへ出展し、本村の情報発信を行い新たな観光誘客へ繋げる。 また、夏場におけるマリンドайビング等の体験型観光やSNSを活用したイベントを通じて本村の情報発信等に取り組む。</p> <p>【R1年度】 ・令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっていくことから各関係機関との連携や、意見交換を行っていく。 今後の進め方について引き続き協議し、観光誘客について慎重に検討していく。</p> <p>【 年度】 ・</p>
--

市町村名	伊江村
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	伊江村観光危機管理計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備
担当部署名	商工観光課	事業実施 年度	平成30 ~ 平成30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	A. 予算現額		10,000			
B. 執行済額		8,100				8,100
うち 交付金充当額		6,480				6,480
執行率(%) (B/A)		81.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.0%
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額1,900千円については入札残によるものである。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
伊江村観光危機管理計画の策定 (観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画の策定)	目標	観光危機管理計画の策定				
	実績	策定完了				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
伊江村観光危機管理計画の策定完了	目標	観光危機管理計画の策定完了				
	実績	策定完了				
【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画に基づき避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目標			避難訓練実施		
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		R1	R2	R3	R4	4年度 目標/発現年度	
事業完了後の 成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	
	整備後 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	実績	避難訓練実施 1回				
		目標					
		実績					
状況説明	【R1年度】 ・令和元年度は、各観光関連事業者に伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機マニュアルを配布し、伊江村役場が主体となって、宿泊事業者、民家体験宿泊事業者及び受入民家の体表を対象に避難訓練を行いました。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づき観光関連事業者には観光危機マニュアルを配布し、観光関連事業者を対象とした避難訓練も行いました。			【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画に基づいて、避難訓練を行ったが、住民の防災訓練とは違って、観光関連事業者は、観光客の安否確認や、村役場への報告に苦労しているように見えたが、実際に訓練をすることで見えてくる部分が多くあり、次年度以降も継続して実施してほしいという意見も多くあった。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・伊江村観光危機管理計画の周知を行うことにより、観光関連事業者に観光危機管理への意識を高めることで、伊江村観光客受入体制の強化につながる。							

市町村名	伊江村
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	伊江村文化等発信拠点施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部署名	商工観光課	事業実施年度	平成30 ~ 平成30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容
伊江村で質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、伊江島はにくすにホール施設の音響設備の機能強化を図る

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
	A. 予算現額		5,500			
B. 執行済額		5,292				5,292
うち 交付金充当額		4,000				4,000
執行率(%) (B/A)		96.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.2%
執行状況の説明	当初の予算額より500千円の増額が発生しているが、音響設備を整備する中で追加の配線工事及び資材の追加を行った事が主な要因である。					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
	目標	音響設備の整備				
	実績	整備完了				
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H30	R1	R2	R3	R4
	目標	音響設備の整備				
	実績	整備完了				
	目標		5件			
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況					
		R1	R2	R3	R4	4年度 目標/発現年度	
事業完了後の 成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	5件	5件	5件	5件	5件
	村外イベント会社等が主催する公演数	実績	1件				
		目標					
		実績					
状況説明	【R1年度】 ・村外からのイベント実績はR1年度は1件だが、コンサート等の予約は2件ほど入っており、主催者側の都合によりキャンセルした経緯があるが、音響設備が整備されたことで、映画上映会やコンサート、生年祝いなどの、伊江村内での活用の幅が広がった。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・令和元年度については、村外からのイベント実績は1件だが、村内からの、映画上映会、コンサート、生年祝い、多くの村民の方、利用してもらい、口コミ等から、県内外から多くのイベント会社が見学に訪れ、令和2年度の予約もいただいたケースもあった。			【R1年度】 ・村外から、県内外問わず、施設の詳細について、多くの問い合わせがあった。施設の詳細のマニュアルを作成し、利用者が予約時にイメージしやすいような環境作りを行う。				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R1年度】 ・令和元年度は、施設を利用した方からの口コミ等で、県内外多くの方から、施設の広さや、備品、特に貸出可能な音響備品についての問い合わせが多かったことから、施設利用マニュアルを作成し、周知していく。							

市町村名		伊江村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	水産物高付加価値化推進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ□ 農林水産業の振興	
担当部署名	伊江村役場	農林水産課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	伊江村で水揚げされる魚類を中心に鮮度保持向上を目的に、荷捌き施設や漁船等(貸出)にNANOバブル発生装置を整備し、付加価値をつけた出荷や販路拡大を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	18,000				18,000	
	B. 執行済額	14,400				14,400	
	うち 交付金充当額	11,520				11,520	
	執行率(%) (B/A)	80.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	80.0%	
執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額3,600千円については入札残によるものである。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	NANOバブル発生装置一式の整備		目標	一式整備			
			実績	一式整備完了			
			目標				
			実績				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	NANOバブル発生装置一式の整備完了		目標	装置整備完了			
			実績	装置整備完了			
			目標				
			実績				

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)		達成/進捗状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					
	【R1成果目標】 新規販路拡大 2件	目標				2件
		実績				0件
		目標				
		実績				
	状況説明	【R1年度】 ・令和元年度において、新規取引については0件となった。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R1年度】 ・新規取引については行われていないが、NANOバブルを活用することで、村内での取引価格は上昇している。また、鮮度保持については、組合員が利用することにより理解が進んだ。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・		【R1年度】 ・NANOバブルを活用し、鮮度保持を行っていることの周知を検討する必要がある。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R1年度】 ・NANOバブルを活用して鮮度保持を行っていることの周知について、村広報誌やHPへの掲載などを検討し、販路拡大を図る。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						